

しょうがくせい みな
小学生の皆さん

さくら お おも こんど うつく きせつ わか いろあざ はな き
桜が終わったと思ったら、今度はツツジの美しい季節を迎えました。色鮮やかな花をたくさん咲かせたツツジを見ると、なぜかバザーや学院祭のようすが心にかびます。いつもツツジのシーズンにしていた行事だからでしょうね。本来であれば、5月1日が Students' Day、2日が Come and See Day でした。小学生は学院祭の発表を見たり、バザーのお客様となったり、楽しみなことが色々あったでしょう。5・6年生は高校生のお姉さんたちと一緒にゲームを担当して活躍することになっていました。

こんかい ねえ がくいんさい がく かか はじ
今回お姉さんたちが学院祭のスローガンとして掲げていたのは、「Sprout ～あなたから始まる～」でした。このスローガンがこのまま終わってしまうのはあまりにも残念ですので、今日は「Sprout」の話をするにします。

はじ し とぎ すてき ことば えら かんしん め は
初めてこのスローガンを知った時に、なんて素敵な言葉を選んだのだろうと感心しました。「芽や葉などが生長し始める」という意味の言葉、あるいは、「新しい芽」や「若い枝」そのものを表す言葉としての「Sprout」。100周年に向けて、聖心の生徒としての土台をしっかりと固めながら、新しい芽を出し伸ばせるよう、一人ひとり自覚をもって進んでいきましょう、という呼びかけが込められていたと聞いています。

わたくし なか なに つ やぶ いきお て い い きやう
私の中で「Sprout」は、何かを突き破って、勢いよく出てくる生き活きとしたものというイメージです。まさに、この季節、校庭やロザリオヒルで見つけることのできる新しい芽や若い枝に「Sprout」を見えています。

しんがくねん いちど あ みな ねんせい ねんせい めい じどう
まだ新学年になって一度もお会いできていない皆さんですが、1年生から 12年生まで 1037名の児童生徒を思い描きながら、まさに皆さんが「Sprout」として、未来の小林聖心を創ってくださるのだということに大きな希望を感じています。今年は 97周年。こんな大変な

とし かがた つ
年があったのだと、きっと語り継がれていくことでしょう。

「～あなたから始まる～」という言葉通り、一人ひとりが小林聖心の「Sprout」になることができるよう、今、この時を、自覚をもって過ごせますように。



ロザリオヒルのツツジ